

2026 年 7 月 31 日

株式会社大銀経済経営研究所

大分トリニータに関するアンケート調査

株式会社大銀経済経営研究所（代表取締役 池田 雄）は、「大分トリニータに関するアンケート調査」の結果をとりまとめましたので、概要をお知らせします。

記

<要約>

1. 百年構想リーグの大分トリニータの活躍度は5点満点中 2.3 点となり、前回調査に比べ 0.1 ポイント低下した。
2. 百年構想リーグのホームゲームを 1 試合以上観戦した人の割合は 11.7%と 4 年連続で低下した。また、1 試合あたりの平均入場者数は 3 年ぶりに 1 万人を下回った。
3. 百年構想リーグの試合を観戦した人に対してその理由を尋ねたところ、「家族・友人・知人に誘われたから」が最も多く、次いで「トリニータのサポーターだから」「チケットをもらったから」となった。
4. 2026/27 シーズンへの期待について、J1 昇格プレーオフ圏内である 6 位以上の成績を期待する回答が 8 割を占め、多くの県民が J2 上位の成績を期待している結果となった。

以上

【お問合せ先】

株式会社大銀経済経営研究所 担当:宇治 TEL: 0 9 7 - 5 3 3 - 8 1 1 1

J1 復帰を多くの県民が期待 ～大分トリニータに関するアンケート調査～

- ・百年構想リーグの大分トリニータの活躍度は5点満点中2.3点となり、前回調査に比べ0.1ポイント低下した。
- ・百年構想リーグのホームゲームを1試合以上観戦した人の割合は11.7%と4年連続で低下した。また、1試合あたりの平均入場者数は3年ぶりに1万人を下回った。
- ・百年構想リーグの試合を観戦した人に対してその理由を尋ねたところ、「家族・友人・知人に誘われたから」が最も多く、次いで「トリニータのサポーターだから」「チケットをもらったから」となった。
- ・2026/27シーズンへの期待について、J1昇格プレーオフ圏内である6位以上の成績を期待する回答が8割を占め、多くの県民がJ2上位の成績を期待している結果となった。

はじめに

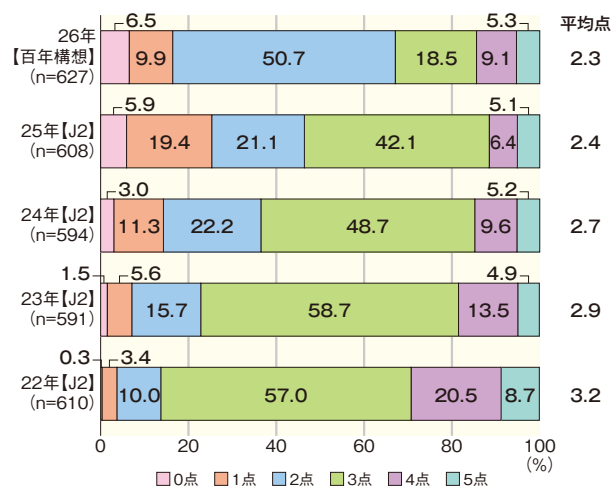
大分トリニータ（以下、「トリニータ」）は、「創青湧躍（そうせいゆうやく）」をチームスローガンに掲げ、新たに就任した四方田修平監督の指揮の下、Jリーグ開催期間移行に伴う特別大会であるJ2・J3百年構想リーグ※（以下、「百年構想リーグ」）を戦った。

「湧き上がるフットボール」をテーマに、勝利とチームの成長を求めて百年構想リーグに挑み、開幕からのホームゲームで3連勝と好調な滑り出しを見せたものの、その後は勢いに乗れず、徐々に順位を下げていった。最終的には地域リーグラウンド内10チーム中7位となり、その後のプレーオフラウンドの結果、百年構想リーグ全40チーム中27位で特別大会を終えた。

当研究所では、県内の大分銀行本支店窓口に来

店されたお客さまを対象に「大分トリニータに関するアンケート調査」を2002年より実施しており、今回の調査で24回目となる。今回もアンケート調査に基づき、百年構想リーグにおけるトリニータへの評価やホームゲームの観戦理由、2026/27シーズンに対する県民の期待についてレポートする。

図表1 トリニータの活躍度



※Jリーグの開催期間移行に伴い開催された特別大会。J2とJ3に所属する全チームを地域ごとに4グループに分け総当たり戦を行い、その後、各グループの同順位同士のトーナメントで最終順位を決定した。